※令和３年度以前入学生用

学校番号	T3037

令和５年度　芸術（美術）科

教科	芸術	科目	美術Ⅱ	単位数	２単位	年次	４年次
使用教科書	高校生の美術２（日本文教出版）						
副教材等	なし						

１　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・美術Ⅰをもとに、平面作品（絵画、版画等）や立体作品（彫刻、塑造等）の美術に関する発展的な内容と鑑賞の分野について学習します。
・鉛筆や水彩色鉛筆、水彩絵の具、ポスターカラー等の基本画材の活用技術を発展させるとともに、それぞれの感じ方や考え方にも留意しながら、創造的な表現の喜びを感じて下さい。
・自身や他の人の作品や美術史的に重要な作品等も鑑賞しながら、自分の見方に加えて、他の人の見方もより深く理解することで、より幅広く、美術に対する理解を深めていって下さい。

２　学習の到達目標

・美術Ⅰで学んだ美術に関する幅広い活動を通して、より美的体験を豊かにし、生涯にわたって美術を愛好する心情を育てるとともに、美的感性を高め、自身の創造的な表現と鑑賞の能力をさらに伸ばし、美術文化についての理解をより深める。

３　学習評価（評価規準と評価方法）

観点	a:美術への関心・意欲・態度	b:発想や構想の能力	c:創造的な技能	d:鑑賞の能力
観点の趣旨	多様な表現方法を経験することにより美術の創造活動の喜びを味わい、美術文化に関心を持ち、主体的に表現や鑑賞の創造活動に取り組もうとする。	感性や想像力を働かせて、感じ取ったことや考えたこと、目的や機能、美しさ等から主題を生成し、創造的な表現の構想を練っている。	創造的な美術の表現をするために必要な技能を身に付け、表現の意図に応じて、表現方法を工夫している。	美術作品等の表現の工夫や美術文化等を理解し、その良さや美しさを創造的に味わっている。
評価方法	・制作の様子 ・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作中の作品 ・鑑賞活動や発言内容	・ワークシート ・アイデアスケッチ ・制作中の作品	・練習課題 ・完成作品	・ワークシート ・鑑賞活動や発言内容

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

※令和３年度以前入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	主な評価の観点				単元(題材)の評価規準	評価方法
			a	b	c	d		
前期	①はじめに	◎オリエンテーション ・ワークシート ・教科書	○			○	a:美術の多様な表現に関心を持ち、これからの学習に意欲を持って取り組もうとしている。 d:制作者の意図や表現の工夫を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート
	②鉛筆・ボールペン	◎鉛筆での濃淡表現 ・筆圧や密度を調整し、10 段階を表現 ◎鉛筆濃淡による立体表現 ・立方体の濃淡立体表現 ・ミロのヴィーナスの面取りの濃淡表現	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	○ ○ ○	a:説明を熱心に聞き、鉛筆による表現方法に関心を持ち、制作に意欲的に取り組んでいる。 b:課題の条件を理解し、制約の中でイメージを膨らませ、豊かな発想と直線の組み合わせによる構成力を発揮している。 c:鉛筆画材の特性に応じた表現方方法を身に付け、自分なりに組み合わせて活用する事で個性豊かな作品となるよう、工夫している。 d:制作者の意図や鉛筆表現の工夫を理解し、良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作中の課題 完成作品
	③水彩色鉛筆	◎名画着彩 ・「バロックへ」リキテンシュタイン作 ・水彩色鉛筆	○	○	○	○	a:説明に対して、熱心に聞き、水彩色鉛筆画材による表現方法に関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b:原画となる作品をよく観察し、その美しさを感じ取りながら、創造的な構想を練っている。 c:課題の条件を理解し、色鉛筆による表現方法を身に付けている。 d:制作者の意図や表現の工夫を理解し、その良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作中の課題 完成作品 鑑賞での発言内容
	④ポスターカラー	◎文字の構成 ・レタリングの応用練習 ・漢字 ・ひらかな・カタカナ ・アルファベット ◎ボールペンによる点描表現	○ ○	○ ○	○ ○	○ ○	a:説明に対して、熱心に聞き、ポスターカラーによる墨入れ表現方法に関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b:課題の条件を理解し、明朝体の美しさを感じ取りながら、構成を広げている。 c:ポスターカラーの基本的な使用方法を身に付け、塗り斑やはみ出しなく美しく仕上げるよう工夫している。 d:制作意図や表現の工夫を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作中の課題 完成作品 鑑賞での発言内容

※令和３年度以前入学生用

後期	⑤ボールペン	◎ボールペンによる 点描表現 ・球 ・円錐 ・バラ ・人物	○	○	○	○	a:説明に対して、熱心に聞き、ペンによる点描表現に関心を持ち、制作品作に意欲的に取り組もうとしている。 b:課題の条件を理解し、点描の美しさを感じ取りながら、構成を広げている。 c:ペンの基本的な使用方法を身に付け、塗り斑やはみ出しなく美しく仕上げるよう工夫している。 d:制作意図や表現の工夫を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作中の課題 完成作品 鑑賞での発言内容
	⑥彫刻	◎木彫 ・木製コースター ・桂材 ・電動糸鋸 ・彫刻刀 ・カッターナイフ ・サンドペーパー ・ポスターカラー ・クリアニス	○	○	○	○	a:説明に対して、熱心に聞き、木彫による表現方法に関心を持ち、素材を生かした作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b:課題の条件を理解し、その用途や美しさを考慮しながら、構成を広げている。 c:電動糸鋸や彫刻刀等の機械、用具の基本的な使用方法を身に付け、安全に使用し、美しく仕上げるよう工夫している。 d:制作者の意図や表現の工夫を理解し、その良さを感じ取っている。	制作の様子 アイデア スケッチ ワークシート 練習課題 制作中の課題 完成作品 鑑賞での発言内容
	⑦塑造	◎ペーパークレイ ・ハーフマスク ・マスク素材 ・軽量紙粘土 ・粘土板 ・ポスターカラー ・クリアニス	○	○	○	○	a:説明に対して、熱心に聞き、紙粘土による表現方法に関心を持ち、素材を生かした作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b:課題の条件を理解し、その用途や美しさを考慮しながら、構成を広げている。 c:紙粘土や粘土ベラ等の用具の基本的な使用方法を身に付け、用途に応じて、美しく仕上げるよう工夫している。 d:制作者の意図や表現の工夫を理解し、その良さを感じ取っている。	制作の様子 アイデア スケッチ ワークシート 練習課題 制作中の課題 完成作品 鑑賞での発言内容
	⑧水彩色鉛筆	◎名画着彩 ・「ヘクトールとアンドロマケ」 デ・キリコ作の着彩	○	○	○	○	a:説明に対して、熱心に聞き、色鉛筆画材による表現方法に関心を持ち、作品制作に意欲的に取り組もうとしている。 b:原画となる作品をよく観察し、その美しさを感じ取りながら、創造的な構想を練っている。 c:課題の条件を理解し、色鉛筆による表現方法を身に付けている。 d:制作者の意図や表現の工夫を理解し、作品の良さを感じ取っている。	制作の様子 ワークシート 練習課題 制作中の課題 完成作品 鑑賞での発言

※　表中の観点について　a:美術への関心・意欲・態度　b:発想や構想の能力
c:創造的な技能　d:鑑賞の能力

※令和３年度以前入学生用

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について〇を付けている。